

## 令和6年度第1回花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議（会議録）

### 1 開催日時

令和6年12月6日（金） 午後3時00分～午後4時40分

### 2 会場

花巻市役所本庁舎 3階 302・303 会議室

### 3 出席者

#### （1）委員出席者

高橋 豊委員、浅沼幸二委員、佐々木博委員、石川恭也委員、  
中村良則委員、高橋忠和委員、漆沢俊明委員、佐藤 充委員、  
中村佳子委員、藤田哲司委員、菅原康之委員、松葉孝博委員 以上12名

#### （2）委員欠席者

小田島浩徳委員、高橋和也委員、和川 央委員、佐々木信明委員、川村厚委員

#### （3）市側出席者

上田東一市長、岩間裕子総合政策部長、菊池司秘書政策課長、  
鎌田明洋秘書政策課課長補佐、八重樫尚孝秘書政策課企画調整係長、  
菊池遼秘書政策課主査

### 4 会議内容

#### （1）開会

#### （2）市長あいさつ

【上田市長】今日は花巻市まち・ひと・しごと創生有識者会議にお忙しい中、ご出席いただきまして大変ありがとうございます。

花巻市の計画はいろいろございます。総合計画は今年の2月に出来上がりました。これは8年間の長期間の理念を定める計画でありまして、具体的事業についてはアクションプラン等で決めることとしております。そのアクションプランも今年の6月に出来上がり、今、実行しているところであります。

そして、まち・ひと・しごと創生でございますけれども、これについては国の事業になります。最近、ニュースで聞いておりますと、6,000億円の補正予算が閣議決定されたということでありまして。いま地方が大変疲弊しているということではなんとか元気にしたいという、そういう方針を国も持っている中で予算化していただいた。これを具体的に生かしていくのが大変重要でありますけれども、これを話し合う会議がこの会議でございます。本日は、まち・ひと・しごと創生の昨年度の実行状況について皆さんにご説明申し上げてご意見を伺います。そして、今後の計画についても皆さんにご説明させていただいて、ご意見を伺うということになります。

花巻市も残念ながら人口が減っております。特に自然減は毎年増えているところであ

ります。今後、75 歳以上の年齢の方が増えていきます。75 歳以上の方は、あと 6、7 年になるとピークを迎えるということですが、85 歳以上の方も増えていく。また、生まれるお子さんの数が 400 人を切っています。全国的な傾向でありますけれども、コロナ禍の下において非常に出生数が減っているということがございます。そして社会増減につきましては、花巻市の場合はずっとマイナスでありましたが、ここ 5、6 年はプラスになっている状況でありましたが、これも少し元気がなくなっている。昨年度は、年度でいうとプラスになっていますが、暦年ではマイナスになっている状況にあります。

その中で、花巻市を少しでも元気にするためには、若い方々にも元気に活動していただく必要がありますし、また若い方々が花巻市に住んでいただく選択をしてもらえるようなまちづくりが大変重要となってきたわけでございます。

そのような意味で、今回ご説明申し上げるまち・ひと・しごと創生の計画、実行したものと今後の計画、大変花巻市にとっては重要なものでございますので、皆様の忌憚のないご意見を賜ればと思う次第であります。お忙しいところ大変恐縮でございますが、ぜひいろんな意見をおっしゃっていただければありがたいと思う次第でございます。よろしくをお願いします。

### (3) 議事

【中村良則座長】 それでは議事を進めさせていただきます。

次第の 3 番目説明 (1) 花巻市の人口動態の概況について事務局より説明をお願いいたします。

岩間総合政策部長から花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要を説明。続いて菊池秘書政策課長から、資料 No. 1 「花巻市の人口動態の概況」に基づき説明。

【中村良則座長】 ただいまの説明につきまして、ご質問のある方は挙手をお願いします。高橋委員どうぞ。

【高橋豊委員】 人口の増減ですが、例えば基準の年と比べて何パーセント減少したという表現はできないでしょうか。

【中村良則座長】 ただいまの高橋委員のご質問につきまして、事務局からお答え願います。

【菊池秘書政策課長】 折れ線グラフでお示ししている数字がありますので、減少率をパーセントで表すことも可能です。今後の会議では、そのようにしていきたいと思えます。

【中村良則座長】 他にどなたかございませんか。はい、どうぞ。

【漆沢俊明委員】 この最初の表ですけども、人口推移にかかる表ですが、実績値が成行値を下回っている見方でいいでしょうか。

【菊池秘書政策課長】 はい、そのとおりです。成行値が緑の線になりますので、令和 6 年時点で若干下回っている状況です。

【漆沢俊明委員】ということは、その原因は何が考えられるのでしょうか。

【菊池秘書政策課長】この成行値につきましては、去年、人口ビジョンの改訂の時点で、令和2年度を基準としてそこから推計した数字でございますが、下回っている理由といたしましては、やはり18歳から24歳までの若年層の方々の転出というのが一番大きな要素だと思います。

【漆沢俊明委員】要は自然減が予想より増えたとか、出生数が予想より減っているとかではないということですね。

【菊池秘書政策課長】もちろんそれも大きな理由の一つであります。

【岩間総合政策部長】ご指摘のような状況もございますけれども、実は令和2年度というのがコロナ禍にございまして、令和元年以降、転出の抑制が働いていたということがございます。それが令和5年度になり、その揺り戻しがありまして、若年層の転出が非常に増えた状況がございます。コロナ禍の影響もあり、出産控えということで出生が低下しているということもあるのですが、大きな数値の変化としては、やはり令和5年度の揺り戻しによって若年層の首都圏等への転出が非常に伸びたということが影響したと思われます。

【漆沢俊明委員】そうしますと、成行値を場合によっては見直すこともあるのでしょうか。

【菊池秘書政策課長】先ほど、現在の人口ビジョンにつきましては、昨年の12月に改訂したということを説明させていただきましたが、次の人口ビジョンの改訂の時期において見直しを図りたいと思います。

【中村良則座長】他にいかがでしょうか。

今の漆沢委員の質問に関連してですが、実際の人口の推移は、人口動態の概況の最後のページに出ている人口動態のグラフがありますが、平成29年から令和元年に伸びており、社会増減はコロナが発生する前に増えている。令和5年になると減っているわけですが、その間の日本経済全体の動きを反映しているのかもしれませんが、令和元年、2年のときは、社会増減は減り方が減って少し受入れが増えていた。受入れが増えた原因をもう少し追究すべきだろうと思います。

【岩間総合政策部長】北上市における大規模企業の立地ということでの転入が、令和元年度以前から徐々に増えて、元年度は特に大きかったと思います。それ以降、もっと減るかと思っていましたが、そこが持続したということは、逆にある程度年齢の高い方がコロナ禍において首都圏から移住されてきたというような動きがあったのだと思っています。それがコロナ明けで落ち着いてしまったというようなことも社会増減が少し少なくなったというようなことがあろうかと思っています。また、この後ご説明いたしますけれども、子育て世帯の流入については堅調であり、引き続き強化が必要ということもありますので、その施策を打っていきたいと思います。

【中村良則座長】他にいかがでしょうか。なければ次に進みます。

それでは続きまして、説明の（2）花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和5年度効果検証について事務局より説明をお願いします。

菊池秘書政策課長から、資料 No. 2「花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和5年度効果検証」に基づき説明。

【中村良則座長】ただいまの説明につきまして、ご質問のある方は挙手をお願いします。  
高橋委員どうぞ。

【高橋忠和委員】今回の令和5年度の検証の時期ですが、今年度も終わりに近づいてきた中で、市では実績が出る時期に合わせているのかも知れませんが、こういった検証を進める際には、早い段階で検証していくのが重要かと思います。市では課題やKPIの低い項目について既に対策等が出ているかもしれませんが、会議を開き皆さんから意見を募るのであれば、もう少し時期を早めて検証をしていく必要があるのかなと思いますのでご検討いただければと思います。

【菊池秘書政策課長】ありがとうございます。例年ですと、今回よりも遅く年を明けて2月ごろに前年12月までの人口動態の速報値と総合戦略の効果検証を併せてご説明しておりました。

今回は他の事項もご検討いただくため12月の開催となりましたが、9月以降であれば市の決算を終え数字が固まりますので、今の時期よりも早く開催することができると思います。

【高橋忠和委員】事情は分かりますので、できるだけ時期を早めてできればいいのかなと思った感想です。

【中村良則座長】市では決算を踏まえて固まった数字を出したいというのはあるかもしれませんが、議論は速報値でも結構だと思いますので、ご検討いただければと思います。他にいかがでしょうか

【漆沢俊明委員】基本目標4のこれからも花巻市に住み続けたいと思うかというアンケート結果がありますが、40歳以上は目標より高い数値ですが、肝心の15歳から39歳の方々が、基準値を大きく下回っているというのは大きな課題ではないかと思います。

やはりなぜ15歳から39歳の方々がそう思うかというところの理由を把握して、反映していかなければ恐らく人口は増えていかないだろうと思います。いくら呼び込んでも花巻市に定住しない可能性があるのも、その辺の課題を共有しておきたいと思います。これから説明をいただく部分にもここは大いに影響があると思っています。

【中村良則座長】では第3期総合戦略の素案の説明の際に改めてお話いただこうと思います。他にいかがでしょうか。

【石川恭也委員】細かいところで申し訳ありませんが、3ページの数値目標の書き方について、製造品出荷額の次に農業所得金額がきておりますけれども、2ページの目標一覧を見ますと、製造品出荷額の次は観光客入込数になっております。ここは順番が逆になっていきますので修正いただきたいと思います。

【中村良則座長】他にいかがでしょうか。お気づきの点があれば随時お願いします。  
では続きまして（3）地方創生関係交付金の実施状況報告について事務局よりご説明をお願いします。

菊池秘書政策課長から、資料 No. 3-1「地方創生関係交付金実施状況報告書」資料No.3-2「令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の実施結果」に基づき説明。

【中村良則座長】例えば低所得者の方とかそれから事業者の方々に燃料費高騰分を支援したとありますが、なにか反響等があればご紹介いただければと思います。

【八重樫企画調整係長】コロナの臨時交付金と物価高騰分の交付金における低所得世帯支援枠につきましては、国から全国一律に非課税世帯であればいくらで交付しなさいと示されたものであるため、特段反響等があるものではありません。また、燃料費高騰分につきましては、岩手県で実施したものに協調させていただき実施したものです。岩手県が3分の1、花巻市が3分の1、事業者が3分の1ということで3者で燃料費を負担した状況でありまして、これは実施していない自治体もございますが、花巻市は岩手県の事業に協調させていただき実施いたしました。運輸以外にもタクシー、乗合バス、観光バスについても同様に支援させていただいたところでございます。

【中村良則座長】他にいかがでしょうか。なければ次に進みます。

では続きまして（4）第2期花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について事務局よりご説明をお願いします。

菊池秘書政策課長から、資料 No. 4「花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略人口動態効果検証（R3～R5）」資料No.5「花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標・重要業績評価（KPI）総合評価シート」に基づき説明。

【中村良則座長】ただいまの説明につきまして、ご質問ご意見ございますでしょうか。高橋委員どうぞ。

【高橋忠和委員】各会社の社長様や経営者様からお聞きするのは、やはり新卒の従業員を雇うのが非常に難しいとのこと。大学に行ってもまた戻ってくる方が非常に少なく特に女性が非常に採りにくいという声を聞きます。市の対策もいろいろ伺いましたが、こういったことが原因で一番効果がある対策はどのようなものであると考えているかお聞きしたいです。

【岩間総合政策部長】地方自治体においてはいずれも同じ問題を抱えていると思っております。その中で特に首都圏の大学に行った方々のリターンが少ないという部分については、全国的な調査等もされているところがありまして、その結果を見ますと、まずは先ほど市内企業における状況でもありましたが、ミスマッチの問題があると捉えております。どちらかというやはり若い方々が望むような事務系ですとか、いわゆるオフィス系の仕事というものがどうしても地方に少ないということで、やはりそういう職業がいっぱいある首都圏の方にそのまま生活拠点を移してしまう状況があるのが一番大きい原因ではないかと思っております。

例えば、北九州市等においては、オフィスビルの誘致に取り組む動きもあるようですけれども、やはりその動きに呼応していただけるような企業がなく、難しい状況だ

と認識しております。

そこで花巻市としてどういうことが考えられるかということになりますけれども、やはり仕事という部分においては、オフィス系の誘致というのは難しい状況にあると思っておりますので、どちらかというやはり住環境等の整備で住みやすさをPRしていく必要があると考えております。

具体的にこういうことをやれば絶対に若い人たちが帰ってくるというようなことを、今打ち出せる状況にはないところですが、今そういう意味で子育て世代が選んでくれる要因という部分を強みとして強化していくということで人の流れを作っていきたいと考えてございます。

【高橋忠和委員】ありがとうございました。私は同じ環境の市町村であっても、非常に成功している事例もあると聞いておりますので、そういった同じ環境でありながら、増加に転じている市町村の研究をしながら、ぜひ対策も検討していただければなと思っていますのでぜひよろしくお願いいたします。

【中村良則座長】他にいかがでしょうか。佐藤委員どうぞ。

【佐藤充委員】今お話にありました、高校生の就職の関係ですが、私も組合関係から、花巻市と北上市の経営者さんからお話を聞きますけれども、やはり高卒の方の就職が少ないといえます。特に北上市は大手の企業が来られているので、そこに集まってしまふことに要因があるようです。1年で新入社員100人から200人採用する年もあったようです。

その中で岩手という地域で考えますと、やはり地方産業なので基本的には中小企業で成り立っています。そうすると100人にも満たない企業さん、10人もいないような企業さんが多い中でなかなか企業としても製造しているものや取り扱っているものをPRしきれず、高校生からは仕事内容をイメージしづらいという声を聞く機会がありました。なかなかここで働こうと思う前に、ここになんの仕事があるんだろうという印象からスタートしてしまっているんですね。

今、岩手の企業さんもコロナが明けたことで、自分の企業を見てもらおうと中学校や小学校といった、高校生ではなくこれからの方に企業をPRする活動をしているところでもあります。

先ほど市から企業とのマッチング等のつながりについてお話がありましたが、2年前くらいにははんプラザに市内企業が集まって、高校生に企業PRを行う展示会がありまして、高校教員の方からも非常に好評でした。その時に将来を担う人と今仕事をしている人の架け橋となるような支援をやっていないといけないと感じたところです。

また、デスクワークの希望が多いというお話もありましたけれども、デスクワークだけではない仕事というものを目にさせていただく機会を作っていくべきかなと考えています。今の若者は自分の成長を求めるために外に出てしまうのは仕方ない話です。その中で目の前の選択肢をできるだけ与えてあげることが必要ですから、企業と学生をつないでこれからの仕事というものを知れる先ほどの展示会であったり、学校に対する説明会であったりの開催について市の支援をお願いできればと考えます。

【中村良則座長】特に高校生などはどんな仕事があるのか、自分がそこで将来どのくらい成長できるかが分かることが、彼らの選択肢となるために必要だと思いますね。

話は逸れますが、今年岩手県内のA社に内定した学生が結局東京都のB社に就職しました。理由を聞くと世界につながるプロジェクトがあるからと言うんです。A社も岩手県の会社では中堅以上の会社と思いますが、やはり東京の方で活躍してみたい、世界と繋がっていききたいということでした。それも確かにそうだろうなと思います。

一方で地元の方となると、やはり仕事として魅力はあるが、どこかもう一段本人が飛躍できるような職場環境というか仕事内容というか、こういうものを提供できるように地元の企業も頑張っていたいただければいいのかなと片方で思ったところです。その支援について市でも検討して、地元の企業と協働していただければ、地元就職の向上につながるのかなと思ったところです。今のは意見です。

他に何かご質問等ございませんでしょうか。では続きまして（５）第２期花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について事務局よりご説明をお願いします。

菊池秘書政策課長から、資料 No. 6 「第３期花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定概要）」資料No. 7 「第３期花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」に基づき説明。

【中村良則座長】先ほど漆沢委員からご質問のあった、40 歳以下の若い世代の方で花巻市に住み続けたいという割合が低いというご指摘があったのですが、その点について、この計画の中でどのような形で対応されようとしているか補足説明があればお願いします。

【菊池秘書政策課主査】昨年度に花巻北高校３年生に向けて転出する理由や花巻に将来戻ってくるかなどの意向調査を実施いたしました。その中では、やはり進学のために転出する方が多くを占めました。また、将来就職するとしても現時点では花巻市以外、関東圏に住んでみたいという回答もございました。ただし、将来戻りたくないわけではなく、約半数の方は仕事や家族をきっかけにして花巻市に戻りたいという回答もありました。

この他に花巻市の印象についてお聞きしたところ、ポジティブなものは自然環境が豊かである、文化や伝統がしっかりしている、治安がよく安全だというもの。一方ネガティブな要素として、日常生活の利便性が低い、交通の利便性が低い、子育て環境が不足しているなどが挙げられました。

このような要素につきましては、この総合戦略にも若者にとって魅力的なまちづくりを進めていくという視点で盛り込んでおります。

【中村良則座長】今の補足説明も含めて、第３期総合戦略素案にご質問ご意見等ございませんでしょうか。

【漆沢俊明委員】今のご説明ありがとうございました。基本目標４のアンケートは、15 歳から 39 歳の市民に対しての答えであったと認識していますが、高校生であれば、私もそうですが、一度は外に出て戻って来ることがあります。戻ってきてくれるかどうかは別にして、戻ってきてもらうための施策を講じなければいけないと思いますが、

実は既に住んでいる市民のうち、39歳までの方でそう思わないという人たちが4分の1以上いらっしゃるのではないかと見ております。

そうすると、今回の素案の中、24ページの「花巻市へ新しいひとの流れをつくる」を見るとどうしても目標も流れをつくるためのものになってしまっているのも、外から内に向けた人口流入を想定した計画となっていると思いますけれども、肝心の今住んでいる人たちに対する支援に関しては、恐らくですが、この後の医療とか子育てとかに多分関わってくると思います。

しかしながら、定住している方々に対して花巻に住み続けたいと思える施策がなければ、どうしてもよそに行ってしまう可能性がある。一生懸命頑張って外から来てもらっても、中から外に出ていくのでは意味がないのではないかとアンケートを見て思いました。

その中でこれは私が毎回申し上げているかもしれませんが、29ページの「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について、結構色んなところで産科医がいないことが非常にデメリットであるとお聞きします。ちなみに、私の娘は東京にいますが、実はお産は全て向こうで行いました。なぜかという、区がコウノトリ便として産気づいたときに迎えに来てくれて出産できる体制を作っていて、それが安心につながっているからでした。花巻市は産科医が少ない中、なかなかそういう取組は難しいと思いますが、やはりそこの整備に向けた取組は継続していかなくてはならないと思ひまして、30ページの施策の方向性のイのところの、下から3番目の「産科医師及び助産師等の確保対策」、31ページの「医師等確保事業」への力のかけ方を継続して行わなければならないというのが、この地域の大きな課題と想っているところです。

そのため、この辺を整理しなければ住みやすいところに行きたいとか、人口の多いところに行きたいとか、医者が多いところに行きたいとか、そういう話になってしまうのではないかと感じたところですので、まずその点が1点。

また、商工会議所に責任があるかもしれないですが、確か先ほどのアンケートの中にも、市内での買い物の満足度が年々低くなってきているとあります。以前キオクシアの職員の方にお伺いする機会があり、北上市と花巻市どちらを選ぶかと聞くと、北上市と答えるんですね。なぜかと聞くと、イオンがあるからと答えていました。花巻にはイトーヨーカドーがありますけれども伝えると、やはりイオンが決め手だと答えていました。今度イトーヨーカドーさんも撤退し、代わりの企業が来ていただけるようではありますが、やはり何かしら官民一体で施策を講じていかないと歯止めは効かないのではないかなと感じているところです。市だけが考えるのではなく一緒に考えていかなくてはならない部分だろうと思いますので、意見とさせていただきます。

【中村良則座長】本当に生活の一番大切なところの取組だと思いますが、市で何かあればお願いします。

【岩間総合政策部長】ご指摘にありました、医師の確保は市としても継続して取り組む必要があるため、この計画にも記載させていただいております。

また、いわゆる産気づいたときの交通手段については様々あると思いますが、市内の状況を見ますと、例えばタクシー事業者等の現状もございまして、東京都のような



取組は無理かと思いますが、逆に数年前から緊急時には救急支援を活用いただいて構いませんとPRをしておりましたので、そういった手法で対応してまいりたいと考えています。

また、買い物の部分につきましては、イトーヨーカドーさんは撤退しますが、ロピアさんに入ってもらえることになっており、ロピアさんの魅力というのも、全国的に非常に高いということで、この頃新しく展開しているところでは1日の集客力が1万人を超える店舗もあると聞いておりますので、ロピアさんにこれから入る店舗の魅力も含めて期待したいなと思っているところでございます。

あとは、若者を引きつける店舗ということでは、リノベーションの手法で少しずつ街中に魅力的なお店が増えてきていると思っておりましたので、リノベーションによる若者のニーズに合ったような店舗は今後も増やしていく努力はしたいと思っております。

【中村良則座長】ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

【高橋豊委員】意見ですけれども、資料3-1の5ページについて。石鳥谷道の駅は非常に立派に整備していただいたと思いますけれども、この中に防災に関する記載がありました。

今日のお話には直接関係がないのですが、実は以前教育委員を務めておりまして、花巻市と旧3町が合併したときに、最初の仕事が石鳥谷中学校の建設でした。その工事中に北上川が氾濫してその工事現場が水害に遭い、1mくらい水がついて、なんでこんな北上川が近い危険なところに中学校を建てるんだという騒ぎになりました。しかし、既に議会でも決まったことでどうしようもなかった。氾濫を受けて北上川の堤防の嵩上げなどをやってきましたが、本来中学校、小学校というのは避難施設ですから最も安全な場所を探すべきであって、当時の議会でも取り上げられていろいろ議論になったと聞いておりますけれども、その意味で、道の駅に防災の視点が加わって整備されたのは非常に良かったと思います。当時の話が分からない方もいるかと思いお話ししました。

【中村良則座長】非常に貴重なご意見でした。他にいかがでしょうか。

【石川恭也委員】先ほど漆沢委員がおっしゃった、北上市と比較してキオクシアの社員がおっしゃっていたことについて、ある意味花巻市と北上市は隣り合っていて、正反対とまでは言いませんが、特色が異なる都市が並んでいます。例えば、北上市であれば街中を再開発してどんどん新しくしている。一方で花巻市はリノベーションによるまちづくりで、元ある建物を取り壊すのではなく、例えばマルカンなど古いものを残して郷愁を感じるようなところが残っています。歴史や文化を感じられるようなまちづくりをされていて、そういうものが刺さる若者たちが戻ってきたい、残りたいという意識になっているのではと思っています。花巻市の良さや特徴をしっかりと意識してその強みを活かしていく取組を継続してもらえたらと思います。

一方で、古いものはいいのですが、悪い面もありまして、例えば最近よく言われるのは、アンコンシャスバイアスといって、男女の古い役割分担意識などが残っているとすると、若者特に女性からは選ばれにくくなることもあると思います。企業も採

用にあたって、「こういう仕事は女性向きではないんじゃないか」という先入観がもしかしたらあるかもしれない。先ほどの展示会のように企業の紹介を子どもたちにしてもらう際には逆にそこで紹介している従業員の方が中年男性であると、子どもが見たときに「ああ、この仕事はこういう人がやるものなんだ」と思われてしまいます。そのため、展示会や体験会のときには意識して若い方、特に女性の従業員を前面に出す工夫をして、子どもにも「この仕事は若い人がやっている。すごい。」と評価してもらえることで、若い従業員のモチベーションにもつながる。そういった点での工夫は市だけでなく市内の企業の皆さんも一緒に取り組んでいただく必要がある。仮に花巻市に住んでも結局通勤圏が広くありますので、盛岡市や矢巾町、北上市あるいは奥州市などに十分通勤できますので、そちらに就職してしまうかもしれない。そこは市の取組だけでは限界があるので、市内の企業や団体の皆さんと一緒に取り組む必要があるのではないか。意見として申し上げます。

【中村良則座長】魅力的な職場になっていると高校生や中学生にも進路の選択しとして考えてもらえるのだと思います。

また、花巻市は城下町です。これは他の町にはない魅力ですので残していければなと思います。他にございますでしょうか。

【浅沼幸二委員】先程のお話にありました、なはんプラザでの展示会で企業紹介を行った感想ですが、小さな工場の社長さんが出展していただいて、当日いらした高校生が1人就職してくれたそうです。何十年かぶりに新卒の高校生が来てくれたと喜んでくれていました。「スタッフからすると孫のような年齢で大切にしている。また企業紹介のイベントをやりたい」というお声を頂戴しました。

ところが、来年も実施する予定ですが、自主財源がないんです。花巻市からは補助金 50%じゃないと出せませんと言われてしています。その辺のところをもう少し緩やかな目で見てもらいたい。

それから、この資料には学校についてはあまり書かれていないのですが、花巻東高校に子どもを入れたい、または入っているから転勤になるけど子どもと奥さんは花巻に卒業までは残るという誘致企業の方も結構いらっしゃる。これだけ菊池雄星と大谷翔平が大リーグにいて有名になって、富士大学から6人もプロ野球選手になっているのだから、花巻市では学校を中心とした野球のまちづくりをしてPRしたらいいのではないかと思います。温泉地だ、観光だ、宮沢賢治だとメインにして取り組んでおられますが、今はもう「花巻東高校はどこにあるんですか」と聞かれるくらいになっているので、ぜひ野球をPRしながら、花巻東高校、富士大学に入ってくる子どもたちがまちなかにわいわいというような都市づくりをしてくれてもいいのではないかと思います。

【中村良則座長】富士大学にとっては大変ありがたいお話ですね。様々な意見を踏まえて計画を策定いただければと思います。以上を持ちまして第3期花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について終了いたします。ありがとうございました。

特になし

## 5 閉会